



BEET 政府認証マフラー

NASSERT Evolution Type II
(パニアケース対応)

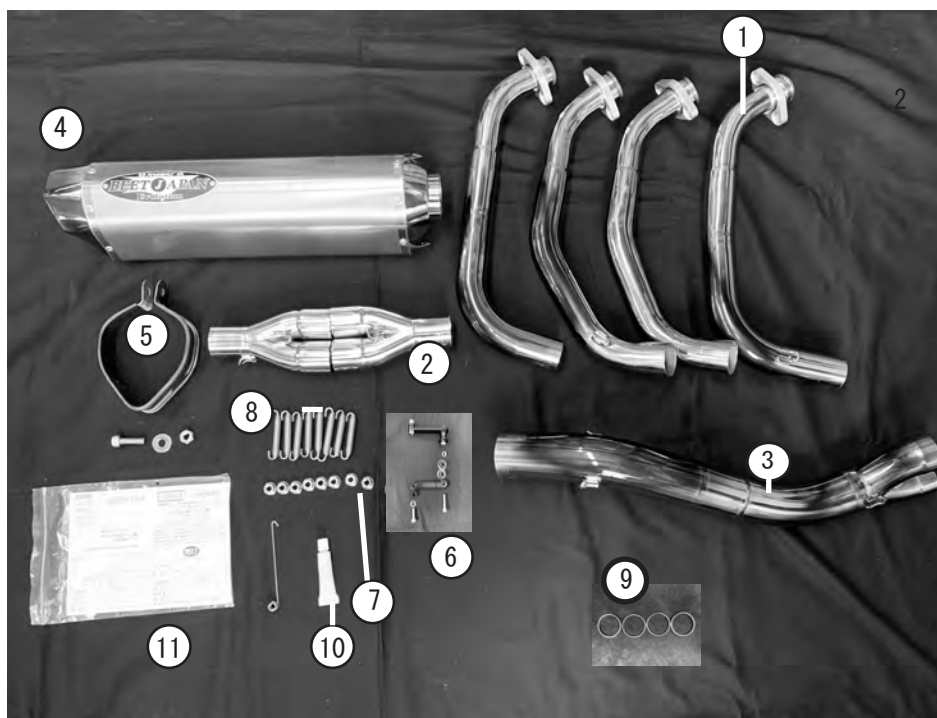
Kawasaki Ninja1000SX ('20)

取扱説明書

⚠ 注意 作業前に必ずお読み下さい。

パッケージの内容を下の写真でご確認下さい。

- 取り付け作業に関しましては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業者は、必ず取り付け説明の各項目、注意事項、部品構成を理解した上で、作業を進めてください。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは必ずユーザーの方へお渡し下さい。



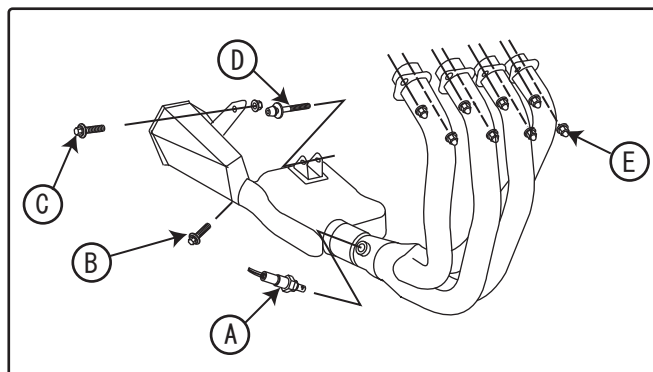
1	エキパイ	7	エキパイ取り付けナット
2	集合部	8	スプリングセット
3	テールパイプ	9	エキパイガasket
4	サイレンサー	10	耐熱シリコン
5	サイレンサーバンドセット	11	保証書セット
6	サイレンサーステーセット		

I ノーマルマフラーの取り外し



注意

走行後マフラーは非常に高温になっております。十分冷ましてから作業を行ってください。



HINT

ノーマルマフラーは重量が重いのでジャッキ等を使用することをおすすめします。

- 右アンダーカウルを取り外す
- ①O₂センサーを取り外します。
- ②クランプボルトを緩め、 ③ボルトを外しサイレンサーを取り外します。
- マフラー本体下部をジャッキ等で支え④ボルト、 ⑤ナットを外しマフラー本体を取り外します。

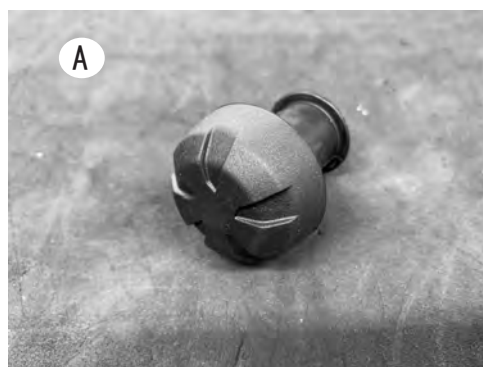
II ナサートマフラーの取り付け準備 (T2 のみ) 1

【Evo II サイレンサーステー取り付け準備 L】

- 左側タンデムステップに付いているラバー①Aを外す。

- 2本出しのみです。

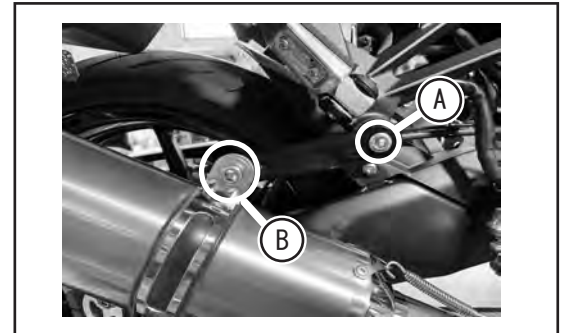
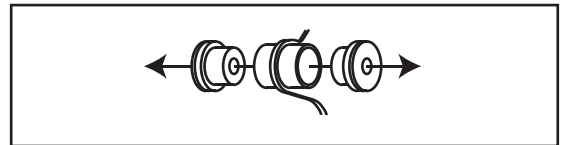
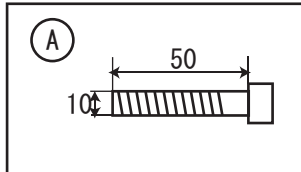
1本出しの場合は次に進んでください。



Ⅱ ナサートマフラーの取り付け準備 2

【 EV0Ⅱサイレンサーステー（パニアケース用）の取り付け】

- ノーマルダンパーカラーラバーを取り外し
付属のカラーに付け替える
付属のボルト (A) M10×50, ワッシャー、ロックナット
に交換しステー (B) と共に
車体に取り付け、
仮締めめの状態（少し動く程度）にしておきます。
2本出しの場合は左右に取り付ける。



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 1

【エキパイの取り付け】

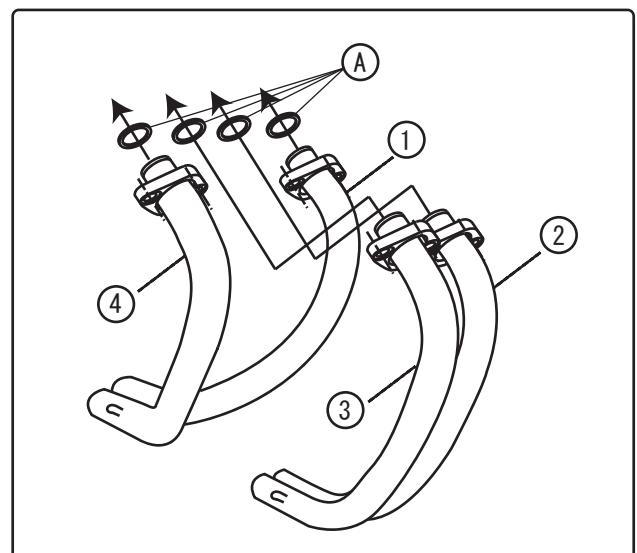
- エキパイガasketを付属 (A) に交換します。

HINT

耐熱シリコンを少量塗っておくと
落下防止になり取り付けやすくな
ります。

- 付属のナットを使って
エキパイ ①② を取り付け
その後 ③④ の順に
取り付けます。

仮止めの状態にしておきます。



	02 センサー 取り付け (補足)	
--	-------------------	--

© Ninja1000、Z1000、Ninja1000SX の NASSERT Evolution Type II フルエキゾーストマフラーの、O2 センサー取付位置が変更となっております。

下記の画像のように、テールパイプから集合部に変更しておりますので、Ninja1000 と Z1000 の場合は、取付説明書の「II 3～4」の集合部組み立て時点で、O2 センサーを取り付けてください。

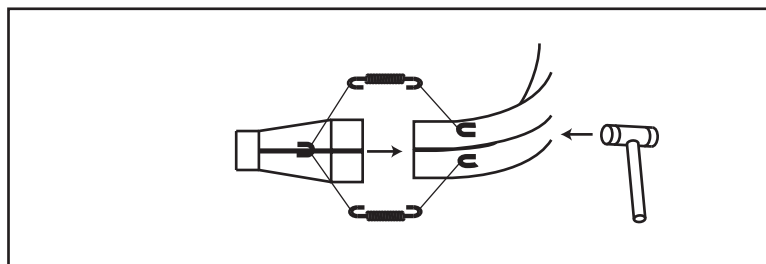
また、Ninja1000SX の場合は、取付説明書の「III ナサートマフラーの取り付け 2」の集合部組み立て時点で、O2 センサーを取り付けてください。



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 2

【集合部(A)の取り付け】

- 組み立て時、差し込み部分に薄く耐熱シリコンを塗布してください。
- ①-③エキパイと②-④エキパイに集合部を差し込みます。
スプリング(4個)を取り付けます。



(HINT)

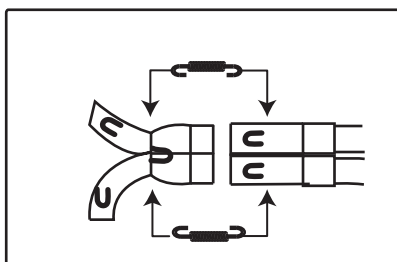
集合部のジョイント部分は高精度に出来てますので、プラスチックハンマー等で軽く振動を与えながら慎重に組み立てます。

スプリングツール



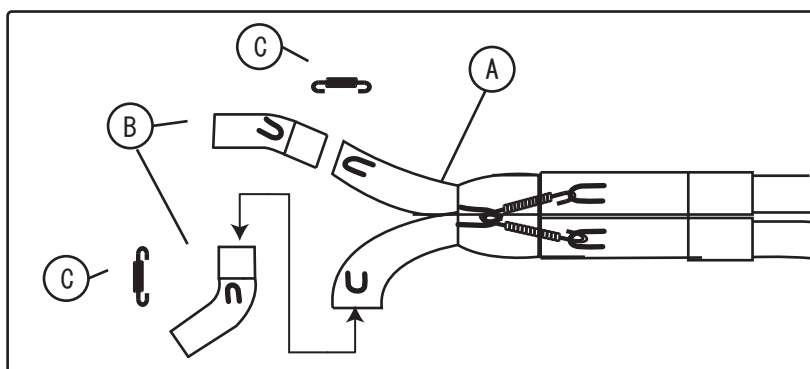
【集合部(B)の取り付け】

- 集合部 B を集合部 A と同様に取り付ける。



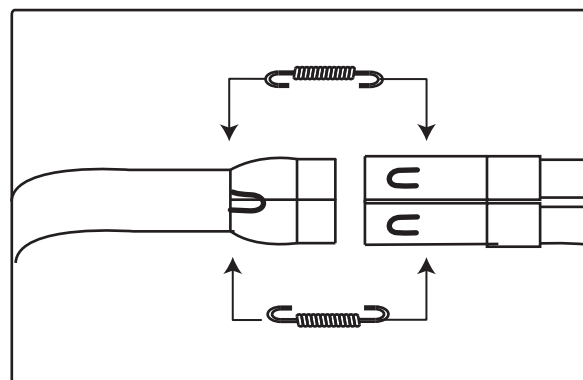
【テールパイプのR, L取り付け】

- 差し込み部分に薄く耐熱シリコンを塗布します。
- テールパイプ (B) を集合部 (A) に差し込みます。
- スプリング (C) を取り付けます。



【1本出しテールパイプの取り付け】

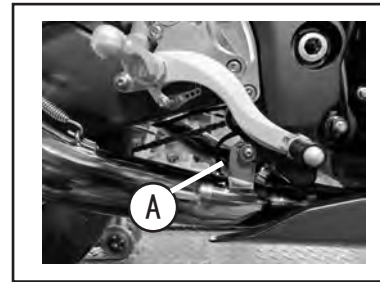
- テールパイプを集合部 A と同様に取り付ける。



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 3

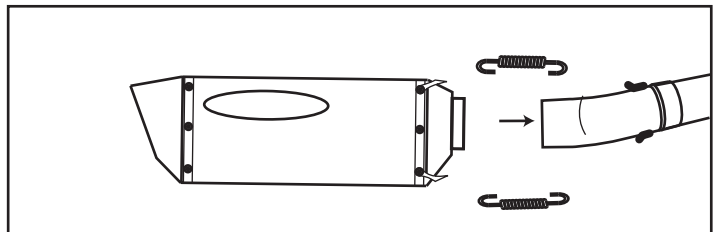
【テールパイプの取り付け】

- 取り外していたノーマル O2 センサーを
テールパイプ R に取り付けます。
- テールパイプ L を取り付けます。
- 2 本出しはテールパイプ R のステー①を
M6X20 丸キャップボルト、ワッシャー、ジヤミナットを使い
フレーム下部に取り付けます。
(2 本出しのみの作業となります)



【サイレンサーの取り付け 1】

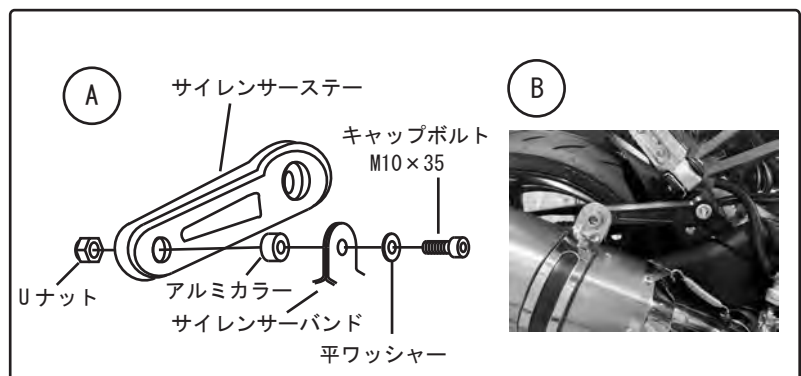
- サイレンサー、スプリングを取り付けます。



【パニアケース対応マフラー】

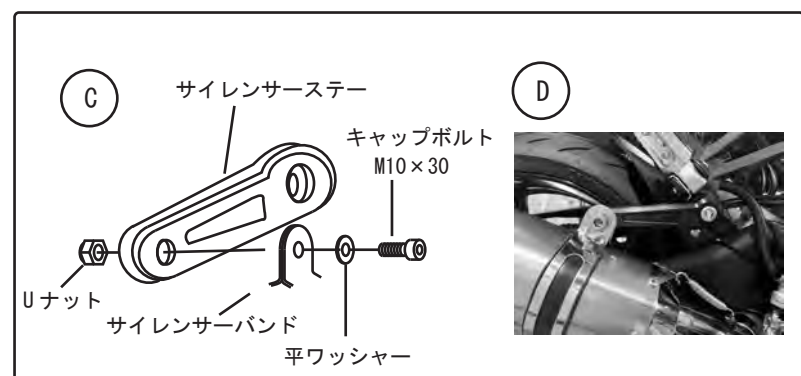
【サイレンサーの取り付け 2(2 本出し)】

- サイレンサーにサイレンサーバンドを通し
サイレンサーバンドを図①のように取り付けます。
- 左右に取り付けます。



【サイレンサーの取り付け 2(1 本出し)】

- サイレンサーにサイレンサーバンドを通し
サイレンサーバンドを図③のように取り付けます。



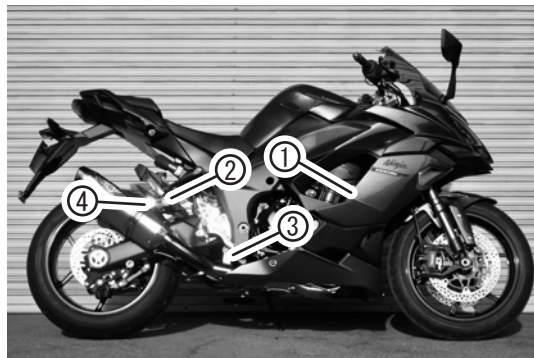
⚠ この時点で各パーツがフレーム等と干渉していないかチェックしクリアランスを調整します。

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 4

【本締め】

次の順で本締めしていきます。

- ① エキパイフランジナット
- ② Evo サイレンサーステー
- ③ R側S字ステー
- ④ サイレンサーバンドとステー



- ① エキパイフランジナットは均等に締め付けを行ってください。
ボルト、ナットを痛めたり排気漏れの原因となります。

【02 センサー取付】

- パイプに当たらないように配線を通しカプラーを差し込んで下さい。

【R アンダーカウル用カラー】

- R側S字パイプとアンダーカウル後端が近い場合は
カウルとカウルステーの間に 付属のカラーφ6×φ20×4t を
入れて隙間を確保する。
- それでも近い場合は右写真の丸部のカウル後端カエシ部を削る。
- カウルとパイプが近いところに付属の遮熱シートを張り付ける。



標準締め付けトルク		
下表はねじ部の直径によって決まる標準締め付けトルクです。 値はいずれもパーツクリーナー等で洗浄した後の乾燥したねじ部に対するものです。		
ねじ部直径 (mm)	N・m	kgf・m
5	4.5	0.46
6	8.0	0.82
8	20	2.0
10	35	3.6
12	60	6.1

- 各部ボルト、ナットの締め忘れがないか、干渉しているところがないか再度確認します。
- 本締めが完了したらエンジンを始動する前に、マフラー全体をパーツクリーナー等で脱脂します。



油分がついたままマフラーに熱が入ると焼色にムラが生じます。

- エンジンを始動し排気漏れがないか確認します。



エンジンを始動するときは、換気のよい所で行ってください。

- すべてのボルト・ナットは定期的にチェック、増し締めを行ってください。

Ⅲ パニアケース取り付け時のクリアランス

【パニアケース取り付け時のクリアランスの確認】

- T2、1 本出し共にパニアケース取り付け時は

☆純正パニアケースのヒートガードを取り付けてください☆

荷物を最大積載重量入れ、パニアケースが下がった時にサイレンサーとの間に
下写真の様にクリアランスが確保されていることを確認してください。



⚠ この時点で各パーツがフレーム等と干渉していないかチェックしクリアランスを調整します。